

広報 I C T 推進特別委員会 行政調査報告書

調査期間 令和元年 10 月 28 日（月）～30 日（水）

調査場所 福岡県嘉麻市、大分県杵築市

参加者 （委員長）井川 剛 （副委員長）石津千代子
（委員）飛鷹裕輔、石川 剛、国政 守、山本照男、谷 國光

福岡県嘉麻市（人口 37,915 人 面積 135.11 km² 議員定数 18 人）

調査事項：議会 I C T について

《嘉麻市タブレット導入の概要と経過について》

◎嘉麻市議会での検討

平成 25 年 11 月：議会運営委員会で、議会のペーパーレス化を協議

12 月：各常任委員会で、議会のペーパーレス化を協議

平成 26 年 3 月：ペーパーレス化専門部会を設置（委員 6 名・各常任委員会から 2 名）

4 月：ペーパーレス化専門部会（2 回開催）

⇒アプリとタブレット端末の検討（業者によるデモの開催）

削減効果等、費用面の検討、

契約方法の検討、導入スケジュールの確認

平成 26 年 6 月：補正予算計上

8 月：タブレット納品

9 月：アプリケーション使用説明会、タブレット端末使用説明会

9 月定例会より紙とタブレットの並行運用開始

（並行運用は 26 年度いっぱい）

平成 27 年 5 月：本格稼働開始

◎タブレットの選定

○議員：自宅等でも活用することを前提にしているため、L T E モデルを導入

○職員（課長以上、議会事務局等）：庁舎が 4 カ所に分散しており、W i F i の構築に非効率であること、導入当初は取り扱いに不慣れで、タブレットの損傷等が考えられること、保証や研修、キッティング、問い合わせ窓口の設置などの面で有利であること、議員と職員が同じ機種を扱うことで、お互いに教え合うことができるなどの理由により、L T E モデルを採用

○通信キャリア：防水・防塵対策が施されていること、予算や決算など大量のデータを保存し比較する必要があることから、メモリーの増設が可能なことなど、今後の拡張性を考慮して A n d r o i d 製品のうち、最新機種である S O N Y E x p e d i a Z 2 を導入。地域的に、i O S 製品はアップルストアへの問い合わせが難しい。

◎通信契約について

- 議会での資料の通信、メール、インターネットを活用するデータ量は、一人当たり 3GB を目安に通信契約をしている。たくさん使用する人とそうでない人がいるため、67 名で約 200GB を分け合う契約となっている。

◎通信キャリア選定の基準

- SONY Expedia Z2 を取り扱うキャリアであること
⇒NTT ドコモ・KDDI
- 次の契約内容を満たすこと
 - ・月間データ使用料 1 台当たり 3GB 以上で、3GB を超えても通信速度が低下しない
 - ・期間内無償修理、端末ロックなどの紛失・盗難対策を万全とする
 - ・機器代金を契約期間内（2 年）に分割し、通信料金と合わせて支払う
- タブレット端末の操作説明会を開催する。また、日常的な相談窓口を設置すること
- 機器の設定をして納入すること
メールアドレスの設定、アカウントの設定、電話帳（アドレス登録）、必要なアプリのインストール、ホーム画面の設定など

◎削減効果について（年間）

1. 配布対象 ≒ 70 部

議員 22、幹部職員 40、議会事務局 6、総務課 2

2. 配布枚数 3,700 枚×70 人＝259,000 枚

定例会、臨時会、委員会、その他資料（計画書等を含む）1 人当たり 3,700 枚
コピー用紙≒155,500 枚 更紙≒104,000 枚

3. 経費 2,441,650 円

用紙代 139,080 円 （コピー用紙 87,080 円、更紙 52,000 円）

印刷代 2,248,470 円 （コピー 505,050 円、印刷代 329,280 円、
カラーコピー 1,414,140 円）

その他 54,100 円 （事務連絡用はがき、議案配布用封筒、郵便代）

※上記費用のほか、印刷製本に係る経費、議案等の配布に要する経費、廃棄費用、議案等の差し替えに係る手間、ファクシミリ送信料、資料保管に係る経費等が数値には表せれないが、経費として考えられる

※会議録、例規集の配付取りやめ（平成 27 年度から）

◎今後の課題等

- 文字の大きさ タブレットになると小さくなるため、ポイントの工夫
- スキルアップを図る 使用者による利用頻度の差から、再研修の検討
- 活用範囲の拡大 テレビ電話アプリを活用した会議の開催など

大分県杵築市（人口 29,031 人 面積 280.08 km² 議員定数 18 人）

調査事項：議会 I C T について

《杵築市タブレット導入の概要と経過について》

◎タブレット導入の目的

- I C T の活用
- 職員の労力軽減
- 議会運営及び審議の効率化
- 議案書や行政文章作成に要するコスト削減（ペーパーレス化）

◎タブレット導入の経緯

- 平成 26 年 ： 広報広聴委員会で議員より導入希望 改選後に検討
- 平成 27 年 4 月： 議会改選
 - 9 月： 広報広聴委員会が福岡県嘉麻市を視察
 - 11 月： 議員全員協議会に諮り、タブレットの取り扱いは議会活性化特別委員会で協議することを確認
 - 議員運営委員会が三重県鳥羽市を視察
 - 12 月： 議会活性化特別委員会でタブレットについて電算担当課が説明
- 平成 28 年 1 月： 議会活性化特別委員会で協議
 - 8 月： 事務局職員研修参加（N T T ドコモ主催 I C T 推進セミナー）
 - 10 月： 議会活性化特別委員会で導入方針を確認
 - 12 月： 議員全員協議会で次年度導入を決定
- 平成 29 年 3 月： 平成 29 年度予算計上（議会に合わせ執行部も予算計上する）
 - 6 月： 第 1 回操作研修（基本ソフト）
 - 8 月： 第 2 回操作研修（他機能）タブレット配布
 - 9 月： 第 3 回操作説明（全般）第 3 回定例会にて導入開始 年内は紙も配付
- 平成 30 年 3 月： 第 1 回定例会において完全ペーパーレス化（予算書含む）

◎導入経費

- 端末購入代
 - i P a d 22 台（議員 18、事務局 4）
 - 約 266 万円（予算ベース、入札後 3 割減）
- 通信料（N T T ドコモ）
 - 使用限量 32 G B / 台 全 100 G B （みんなでシェア）年間維持費 約 154 万円
- ソフト使用料
 - 文書共有システム S i d e B o o k s 年間 395,000 円
 - 情報伝達アプリ W o w T a l k 年間 72,000 円

◎導入効果

- ペーパーレス化 紙・印刷代の削減
- 膨大な議会資料がタブレット 1 台に格納 持ち運びが簡単、整理ができる
- 検索がスピーディー
- カメラ機能で写真や動画も配信
- 職員の業務改善が図れる 資料印刷等準備なし・連絡方法の改善
- 議員との連絡方法の改善 F A X が連絡手段だったため自宅へしか文書が送れなかった
- 議案修正が可能 再配布なし
- 経費削減効果は 80 万円を試算

◎今後の課題等

- 議員間の温度差 ふなれな議員が多い⇒議員同士でサポート
- メモが取りにくい タブレットへの記入は可能だが書きづらい
- 予算書、決算書等対前年の比較が難しい

◎その他

- 執行部側も同時に導入、全 45 台を課長級及び主な係長へ支給。平成 26 年からペーパーレス会議を試行
- 議案書・予算書はホームページでアップ（個人で印刷）
- 議員 3 名（I C T 推進委員）でプロジェクトチームを結成し議員へのサポート体制を整える
- 使用は議員活動に限るとし、「使用基準」を作成。市の情報セキュリティポリシーの手引きを配布、遵守要請

（まとめ）

嘉麻市では、平成 26 年からタブレットを導入し買い取りという方法である。買い取りのため支払い終えたら備品扱いとなることから、現在執行部側に約 150 台あり、課長補佐・一部係長まで配付している。導入を検討していた当初の委員会の副委員長が現在市長であるため、導入に関して積極的であり、現在はほぼ議会での紙資料は使用しておらず、削減効果は経費で 2,441,650 円と実績がある。S i d e B o o k s では、フォルダの色分けなど工夫をしており、閲覧しやすくなっている。タブレットのセキュリティ面では、ほとんど規制がなく議員は自由に使用できるようになっている。

杵築市では、S i d e B o o k s のアカウントを議員個人に伝え、自宅のパソコン等でログインできるようにしている。このことにより、タブレットとパソコンを同時に操作でき、前年度の資料等を見比べることができるとのこと。

2 市とも、タブレットのセキュリティについては、自由に使用できるようになっている。使用方法については、これから協議していく必要があると考える。